

NIGHTER

NIGHTER

NIGHTER

NIGHTER

NIGHTER



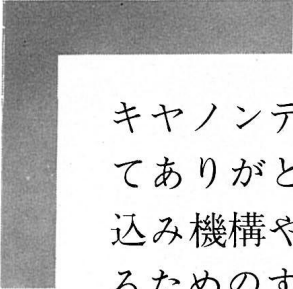
77 9 15

# Canon A35 デイトルクス

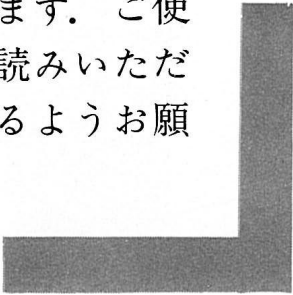


使用説明書

日本語版



キヤノンデータークスをお買上げくださいます  
てありがとうございます。このカメラは日付写  
込み機構やストロボ内蔵など、撮影を楽しくす  
るためのすぐれた機構をそなえています。ご使  
用の前にはぜひこの使用説明書をお読みいた  
だいて、その性能を十分ご活用くださるよう願  
いします。





# A35データルックスの性能

レンズ：キヤノンレンズ40mm 1:2.8 4群5枚構成

焦点調節：回転ヘリコイドによる二重像合致式距離計連動

距離目盛：0.8 1 1.5 2 5 ∞ (m)

3 5 7 15 (ft)

シャッター：プログラムEE式メカシャッター

EV連動範囲：EV9～17(ASA100, F2.8 $\frac{1}{60}$ 秒～F20 $\frac{1}{320}$ 秒)

フィルム感度目盛：ASA25・50・100・200・400

フィルター補正：自動 (32)(40)(64)(80)(125)(160)(250)(320)

ファインダー：視野枠、近距離補正マーク、測距部、日付け表示(デートスイッチオンで巻上げ完了時にシャッターボタンの第1ストロークで点灯)、絞り値、メーター指示、露出アング及びオーバーマーク、バッテリーチェックゾーンなどを表示

フィルム巻上げ：1作動130°、回転巻上げレバーによる

フィルム装てん：多スリットスプール採用

裏蓋開放：裏蓋開放スイッチによる

フィルム枚数計：裏蓋開閉による自動復帰順算式

内蔵ストロボ：距離合わせおよび充電電圧量に応じて適正露出のAUTO撮影が行なえるキャッツ機能

ガイドナンバー：12m(ASA100)(新品電池にてパイロットラン

プ点灯後30秒経過のとき)

照射角度：35mm判で40mmレンズをカバー

発光間隔：単3型アルカリマンガン乾電池で8秒以下(新品電池を使用して発光後パイロットランプが点灯するまで)

発光回数：単3型アルカリマンガン乾電池で120回以上(新品電池を使用して発光間隔が30秒になるまで)

色温度：昼光相当、独自のグリーン散光補正板使用により色温度補正  
閃光時間：1/1000秒以下

パイロットランプ：本体背面ファインダー窓横にあり

電池：単3型アルカリマンガン乾電池(AM-3)1個使用

Ni-Cd電池使用可

Date(日付け)機構：年月日の写込み機構、日付けセットは日付けロック解除ボタンを押しながら、鏡胴のダイヤルを回してセットする

Date(日付け)表示：年：77～87, 0～9□

月：0～12□

日：0～31□

日付けスイッチ：ONにすると日付け写込み準備

電源：HD型水銀電池1.35V 2個使用

大きさ・重量：122×75×61mm・540g(電池含む)

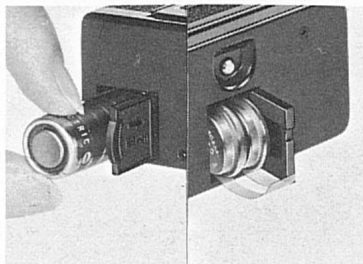


## 目 次

撮影手順	6
電池の入れ方	8
メーター用電池のチェック	11
フィルムをつめ方	12
フィルムの巻上げ	15
ASA感度のセット	16
日付けのセット	17
E E 撮影	20
ファインダー情報の確認	22
ストロボ撮影	23
フィルムの巻戻し	26
セルフタイマー撮影	28
カメラの構え方	30
ストラップの取付け方	31
フィルターを使うときは	32
カメラ取扱いの注意	33
アクセサリーの紹介	35

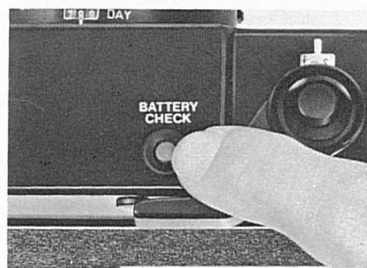
# 撮影手順

1



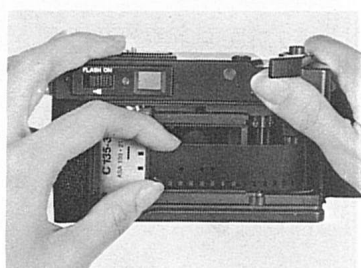
電池を装てんする。

2



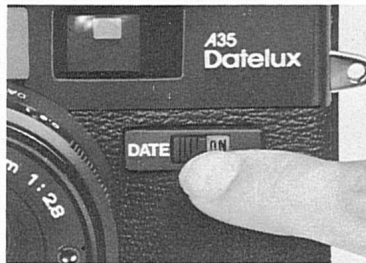
電池チェックをする。

3



フィルムをつめる。

7



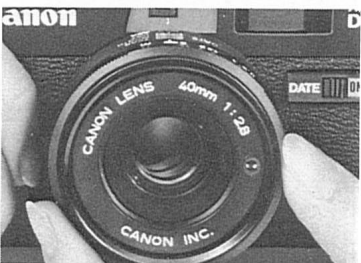
デートスイッチをONにする。

8



フィルムを巻上げる。

9



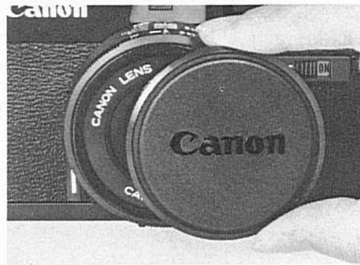
ピントを合わせる。

4



ASA感度を合わせる.

5



レンズキャップをはずす.

6

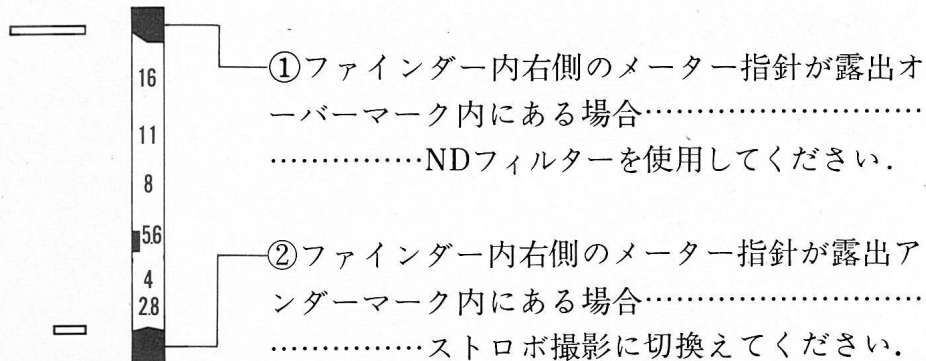


日付けをセットする.

10



シャッターボタンを軽く  
押す.

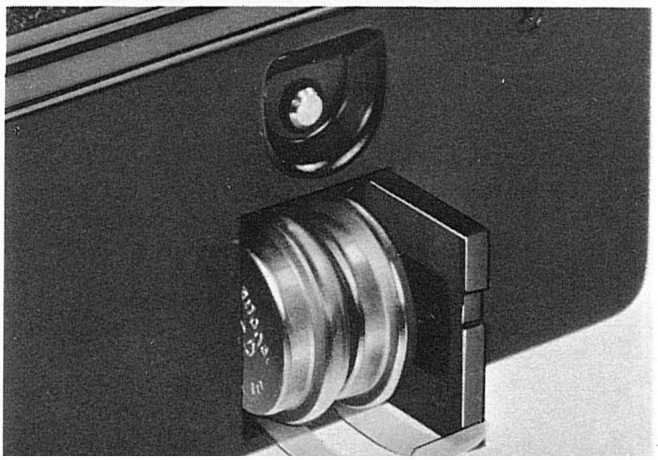
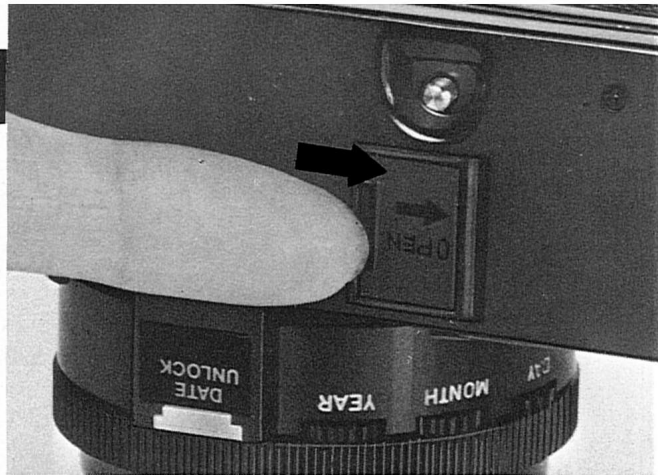


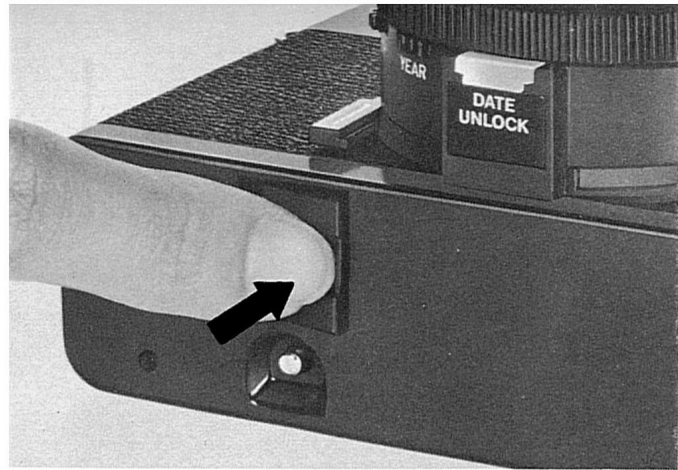
## 電池の入れ方

〈カメラ本体の電池〉

このカメラはメーター及び日付け写込み用としてHD型(1.35V)水銀電池2個を用います。新しい同一銘柄品をご用意ください。

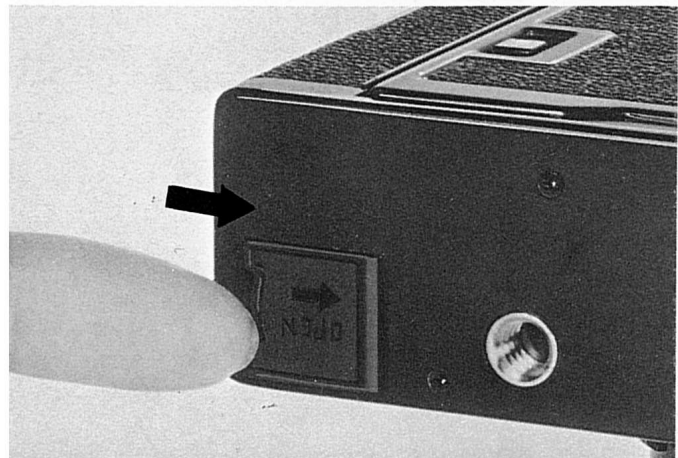
- 1 カメラ底部の水銀電池室カバーの溝に爪先を入れて矢印方向に押し開きます。
- 2 電池を電池室内の表示にしたがって、 $\oplus$  $\ominus$ の向きをまちがえないようにリボンの上にのせて入れます。





**3** カバーを押しつけながら閉じます。

●水銀電池に汗や指紋をつけたまま入れないでください。接触不良をおこしたり、カメラ側の電気接点が腐蝕されて傷んでしまうおそれがあります。必ず、一度拭取ってから入れてください。

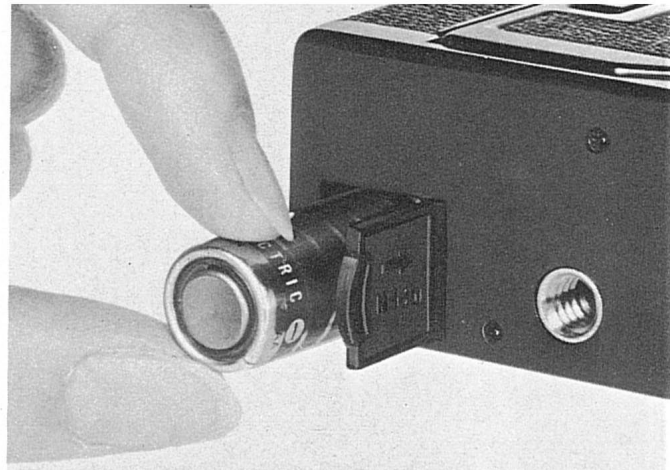


〈ストロボの電池〉

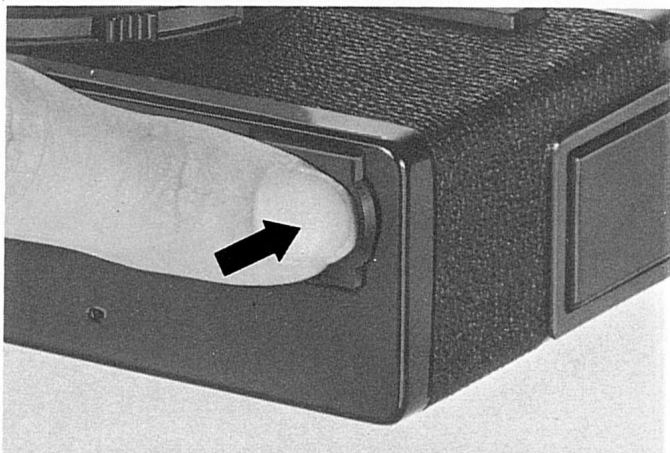
使用電池は単3型アルカリマンガン乾電池 (AM-3)  
1本です。新品電池をご用意ください。

**1** ストロボ用電池室カバーの溝に爪先を入れて、矢印方向に押し開きます。

2 電池室内の表示にしたがって、 $\oplus$  $\ominus$ の向きをまちがえないように電池を入れます。

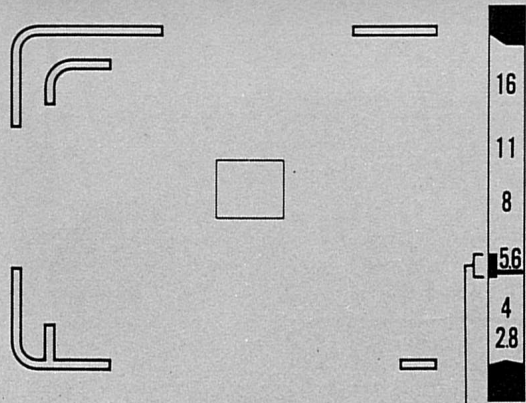


3 電池室カバーを矢印方向に押付けながら閉じます。



## メーター用バッテリーのチェック

電池チェックボタンを押しながらファインダーをのぞきます。メーター指針がブルーの電池チェックゾーンにあれば電圧は十分です。チェックゾーンより下に指針がある場合は電圧不十分ですから、水銀電池を交換してください。



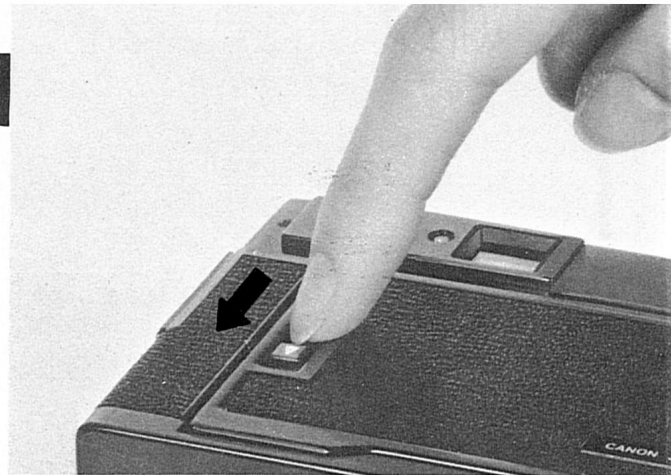
電池チェックゾーン

- 電池チェックボタンは押した瞬間露出アンダーマーク内に入りますので、深く十分に押込んでください。
- 電池が消耗するとシャッターがロックされ撮影ができなくなるか露出精度が悪くなりますので、ご使用前には必ず電池チェックをして確認してください。特に寒冷地では小マメにチェックしてください。
- カメラを使用しないときは電池を拔出しておいてください。長い間入れたままにしておきますと、電池漏液などでカメラ側の電気接点をいためるなど、故障の原因となることがあります。
- 寒冷地で撮影するときは、ストロボ用電源にNi-Cd電池の使用をおすすめします。

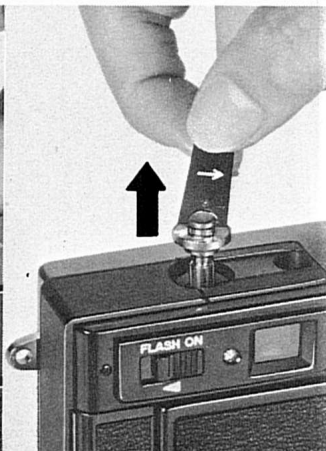
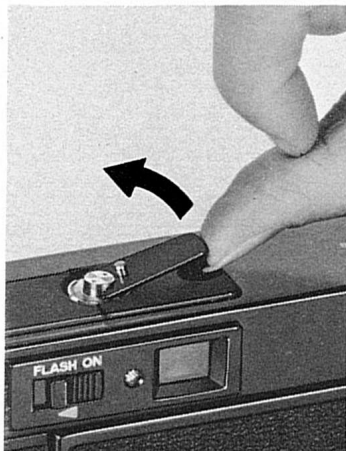


## フィルムのつめ方

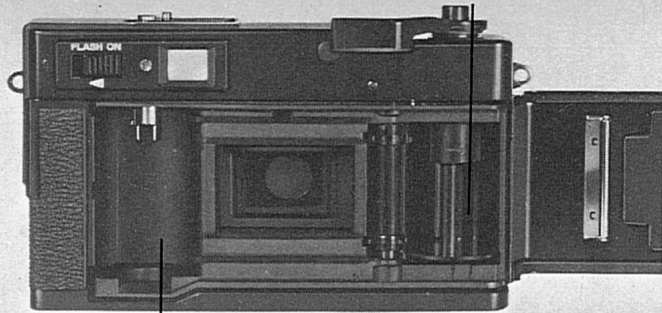
**1** カメラ背面の裏蓋開放ノブを矢印方向に強く押すと裏蓋が開きます。



**2** 巻戻しレバーをを起こしてから上に引きあげます。

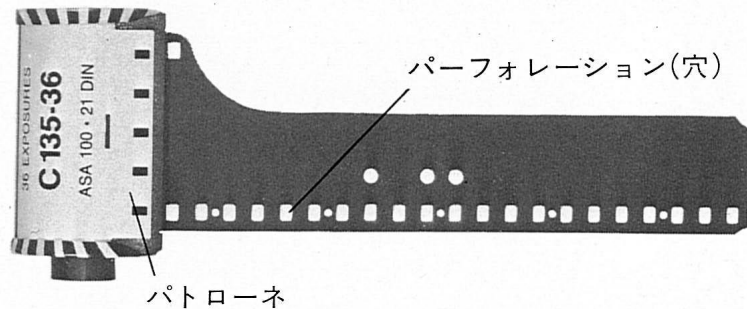


スプールの溝

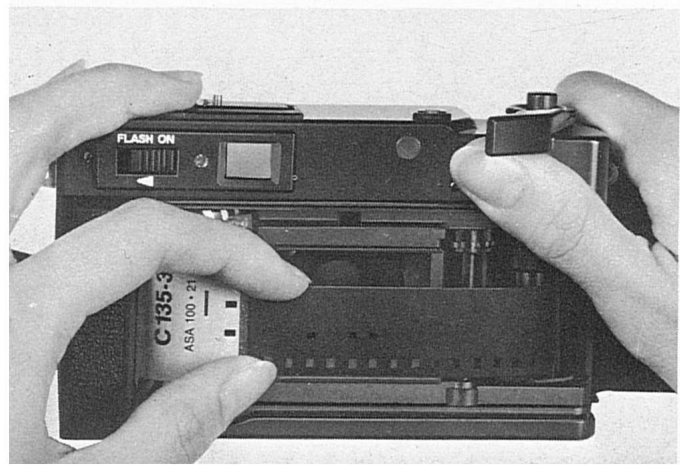


フィルム室

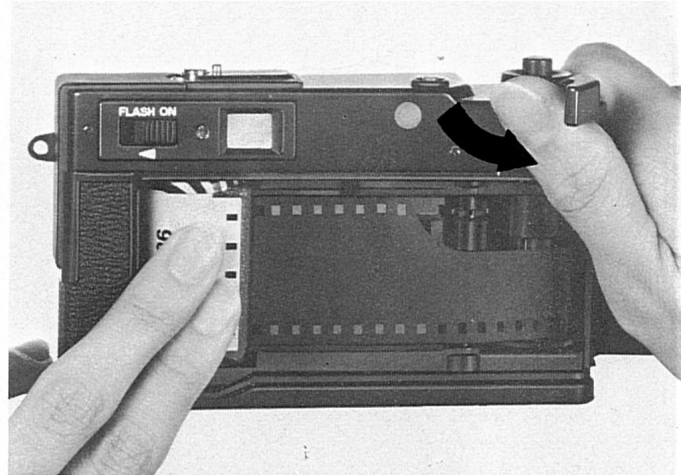
3 フィルム室にフィルムパトローネを入れて巻戻しレバーを押下げます。



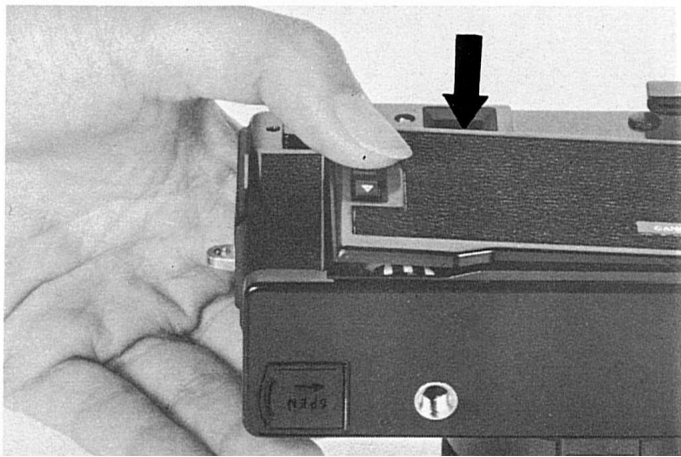
4 フィルムを少し引出して先端をスプールの溝にさし込みます。パーフォレーション2穴分位が適当です。



**5** 溝ぎわの突起にパーフォレーションの穴がかかるように注意しながら巻上レバーを回し、フィルムを巻取り軸に一回転巻付けます。



**6** パトローネの向きが正しくはまっているのを確認してから、裏蓋を押付けて閉じます。

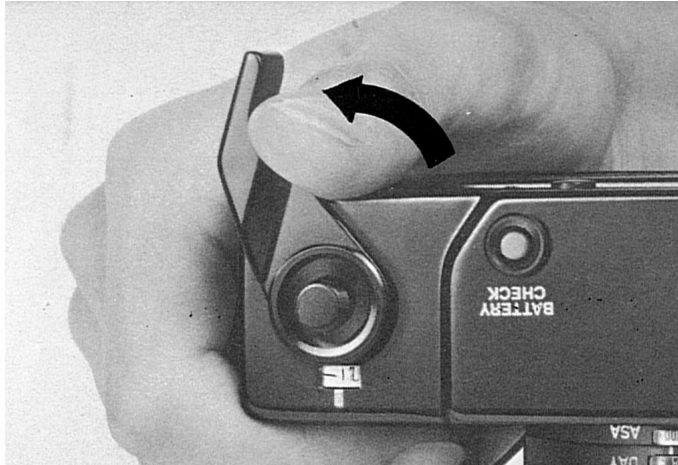


**7** フィルムのたるみを取るために、巻き戻しレバーを止まるまで巻き戻します。

## フィルムの巻上げ

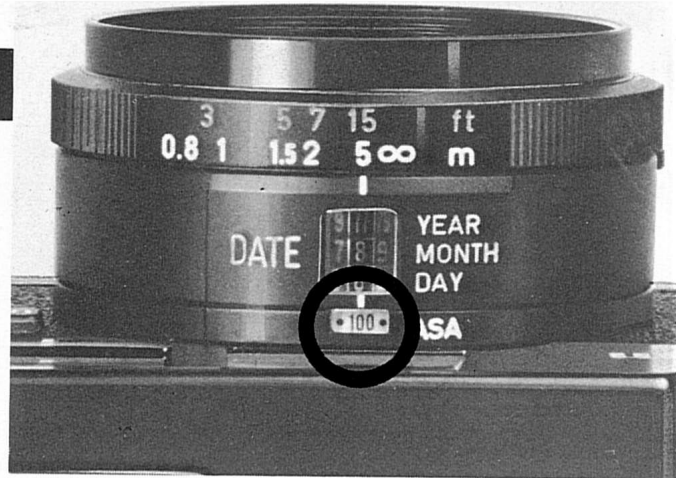
フィルムをつめて裏蓋を閉じたのち、巻き上げレバーを、動かなくなるまで繰り返し巻上げます。動かなくなるとフィルム枚数計に1の数字が出て、1枚目の撮影準備完了です。

●フィルムが確実に送られているときは、巻上げと同時にフィルム送り確認マークの赤い線が回ります。赤い線が動かないときは、もう一度フィルムを入れ直してください。



## ASA感度のセット

ASA感度セットレバーを動かして、ASA感度表示窓に数値をセットします。ASA感度はフィルム外箱に表示されています。

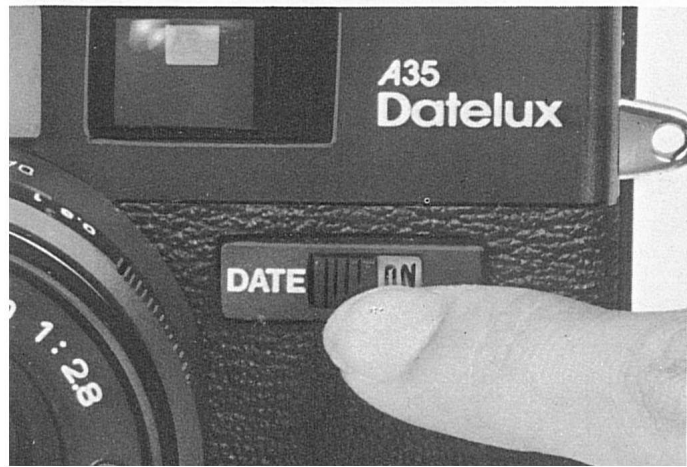
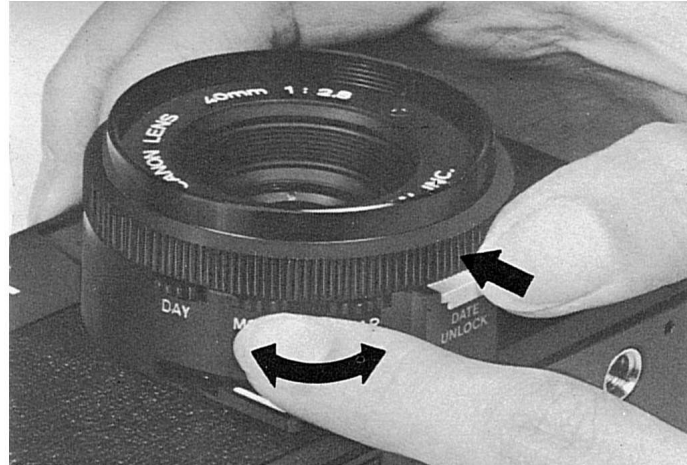


## 日付けのセット

**1** 日付けロック解除ボタン（デートアンロックボタン）を押しながら、レンズ鏡筒部の年・月・日のダイヤルを回して、日付け表示窓に日付をセットします。

●日付けロック解除ボタンから手をはなすと年・月・日のダイヤルが動かなくなります。

**2** デートスイッチをONにします。





**3** ファインダーをのぞいてシャッターボタンを軽く  
押しすと、ファインダー下部中央に写込みの日付け  
が表示されます。

● 巻上げ後でないとファインダー内に日付け表示が  
出ません。

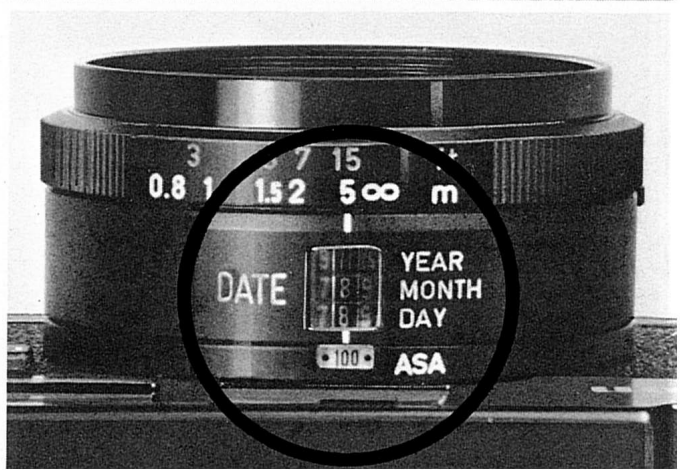
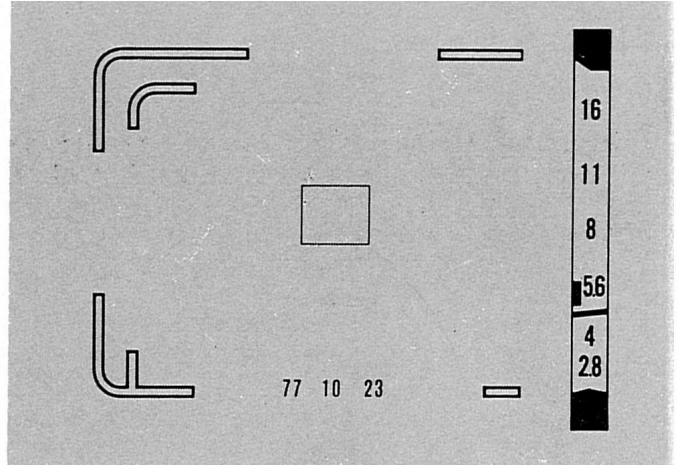
● 日付けはファインダー内表示と異なり画面右下に横  
位置で年月日の順に写込まれます。

● 写込み位置に明るい被写体があると日付けが見にく  
くなりますので予め確認してください。

● □マークを日付け表示窓に出すと、日付けは写りま  
せんので、日付けを写込みたくないときには□マーク  
に合わせるか、デートスイッチを切ってください。

● 日付けはシャッターが切れたあとに写込まれますか  
ら、シャッターボタンを0.5秒程度押しつづけてください。

● 寒冷地では電池性能が低下し、日付け写込みが不安  
定になりますから、保温してご使用ください。







(日)  
(月)  
(年)

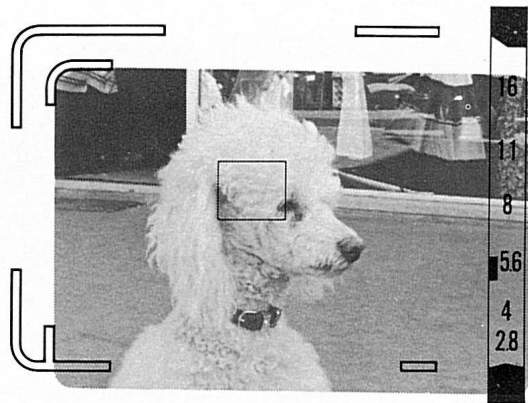
# 撮影

**1** ファインダーをのぞいて構図をきめます。ファインダー内外側の黄色い枠の中が写される範囲です。

● 1 m以内の撮影では、画面が近距離補正マークから右に移動しますので注意してください。

**2** ピントを合わせます。距離リングを回し、ファインダー内中央の四角い部分で被写体の二重像がピッタリと一致するように合わせます。

**3** シャッターボタンを押します。手ぶれを防ぐためにカメラはしっかりとかまえ、シャッターボタンを静かに押します。





ビントがはずれている



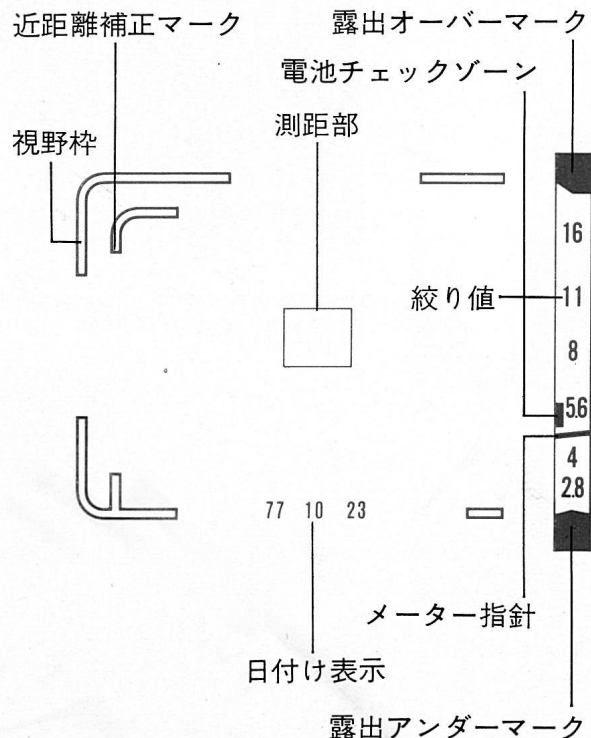
ビントが合っている



## ファインダー情報の確認

ファインダー内右側の適正露光範囲内にメーター指針があればE E撮影OKです。露出オーバーマーク内にあるときはNDフィルターを用いてください。露出アンダーマーク内にあるときはストロボ撮影に切替えてください。

●指針が下側の赤マークに入って露出アンダーになったときは、シャッターがロックされる安全機構になっています。シャッターがロックされているときにはファインダー内に日付表示は出ません。



## ストロボ撮影

ファインダー内のメーター指針が露出アンダーマーク内にあるときはストロボ撮影に切換えてください。

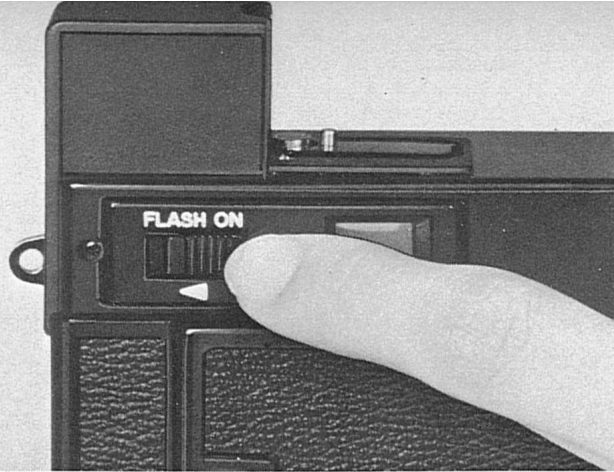
**1** ボディ裏面のストロボスイッチを矢印方向に押しと内蔵ストロボが飛び出します。

**2** ストロボ撮影準備確認用パイロットランプが点灯すると撮影準備OKです。

●ファインダー内のメーター指針も露出アンダーマーク内から適正露出範囲内に移りますので、ファインダーをのぞいたままでもストロボ撮影準備の確認ができます。

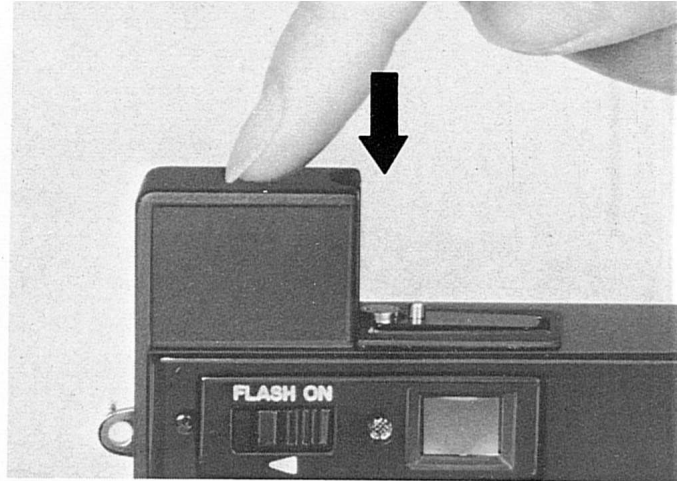
●パイロットランプ点灯前にシャッターボタンを押すとEEが不確実になります。

**3** EE撮影同様に、ファインダーをのぞいてピント合わせをし、メーター指針を確認してシャッターボタンを押します。



4 ストロボ上部を押下げて元にもどせば、また普通のE E撮影に切換わります。

- 被写体までの距離が遠いと、メーター指針が露出アンダーマーク内に入り、シャッターがロックされます。
- 高感度フィルムを使用した場合、被写体までの距離が近くとメーター指針が露出オーバーマーク内に入りますので注意してください。
- ストロボ撮影をしないときはストロボを押下げておいてください。ストロボを出した状態のままにしておくと、電池消耗を早めます。
- 日中撮影の補助光としてもストロボをご利用ください。完全逆光はもちろんのこと窓際などの逆光時や、木かげ夕方など被写体の顔が暗くなってしまう場合にも、ストロボ撮影により、きれいに撮ることができます。



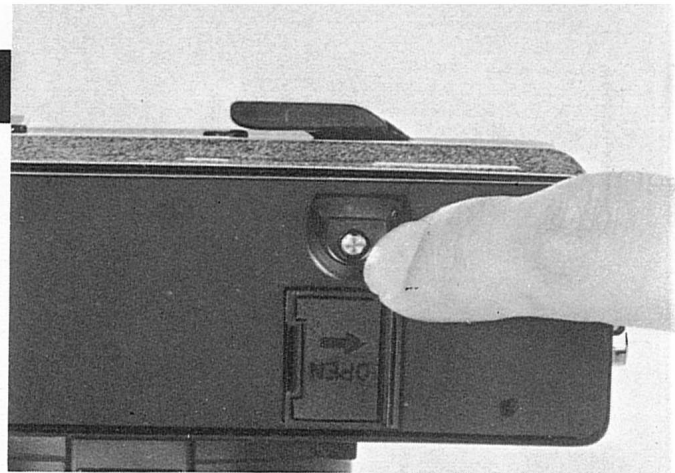




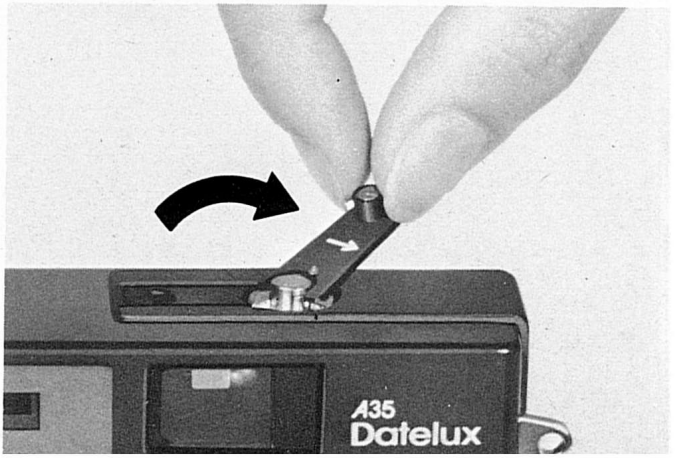


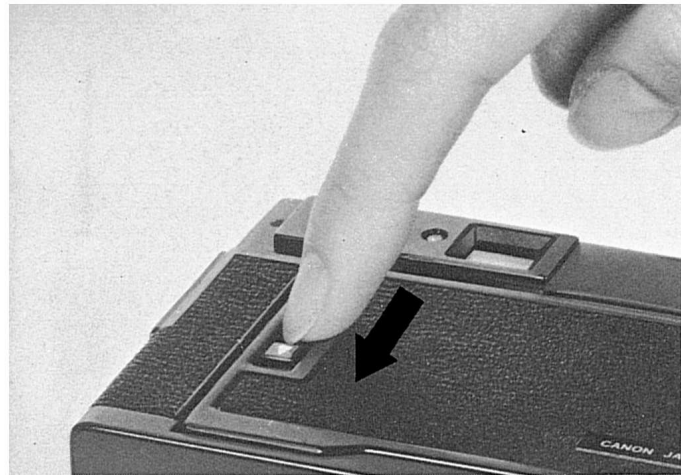
## フィルムの巻戻し

**1** 規定のフィルム枚数が終わったら、巻戻しボタンを押込みます。

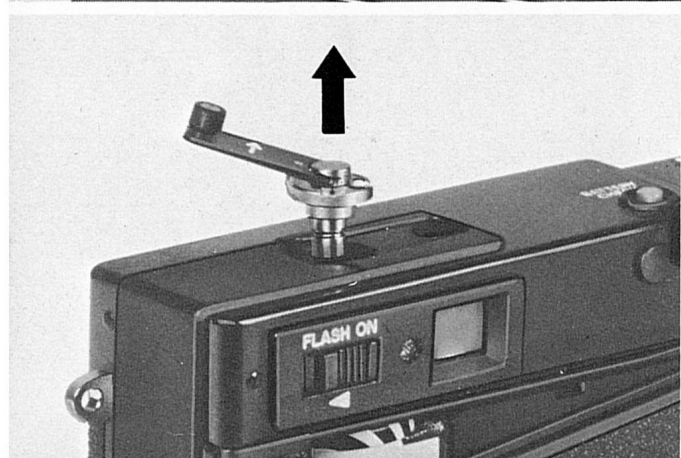


**2** 巻戻しノブを起こして矢印方向に回します。手ごたえが無くなって回転が軽くなったら巻戻し完了です。





**3** 裏蓋開放ノブを矢印方向に強く押して裏蓋を開きます。

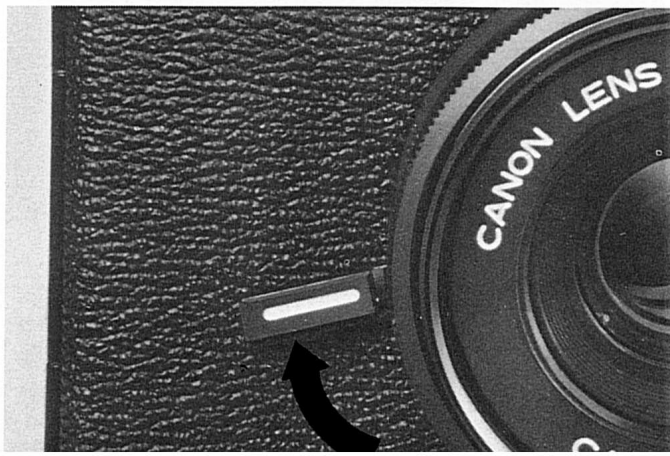
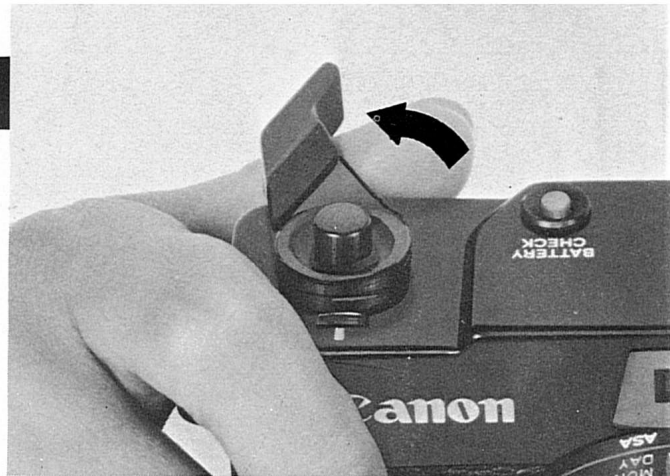


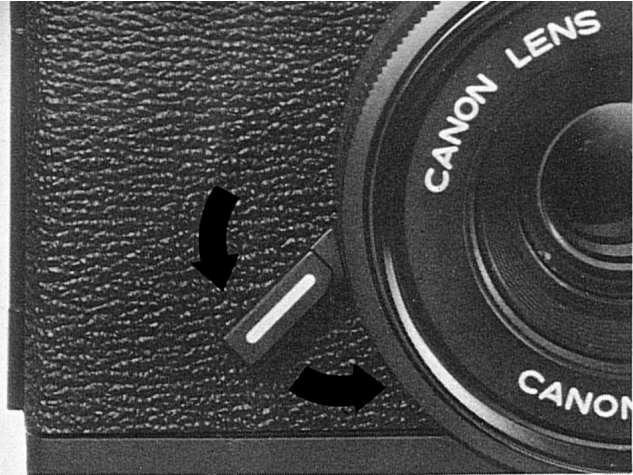
**4** 巻戻しノブを引上げてからパトローネを取出します。

## セルフタイマー撮影

1 巻上げレバーを巻上げます。

2 セルフタイマーレバーを矢印の方向にいっぱい  
回します。





**3** シャッターボタンを、ロックされるまで十分に押し込みます。セルフタイマーレバーが動いていることを確認してください。

●カメラの前に立ってシャッターボタンを押ししないでください。自分の体がCdS受光窓をふさぎ、露出を狂わせます。ファインダーをのぞいたまま視野を確認して押してください。

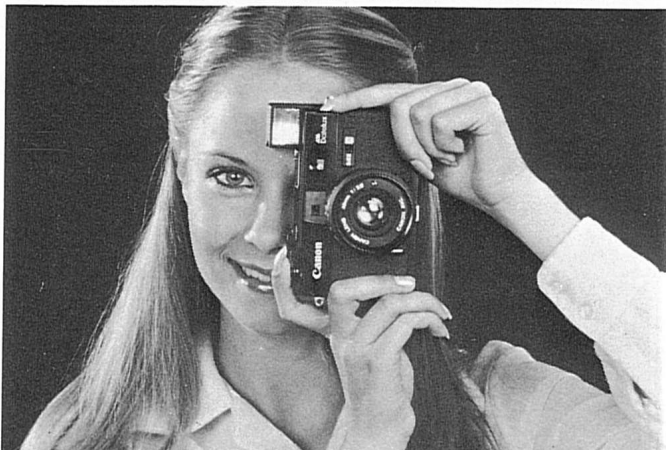
●巻上げレバーを巻上げなくても、セルフタイマーをセットし、シャッターボタンを押すと、セルフタイマーだけが作動しますので注意してください。

●セルフタイマーをセット後、解除したい時は、レバーを元にもどせば解除されます。

## カメラの構え方

- 1 両手でしっかりとカメラを持ちます。
- 2 構えるときは一方のひじをピッタリと体につけます。
- 3 シャッターボタンを指の腹で押しつけるようにして静かに押します。

●シャッターボタンを乱暴に押すと、カメラブレの原因になります。





## ストラップの取付け方

ストラップ取付け金具（吊り環）に、ストラップ先端が内側になるように通します。

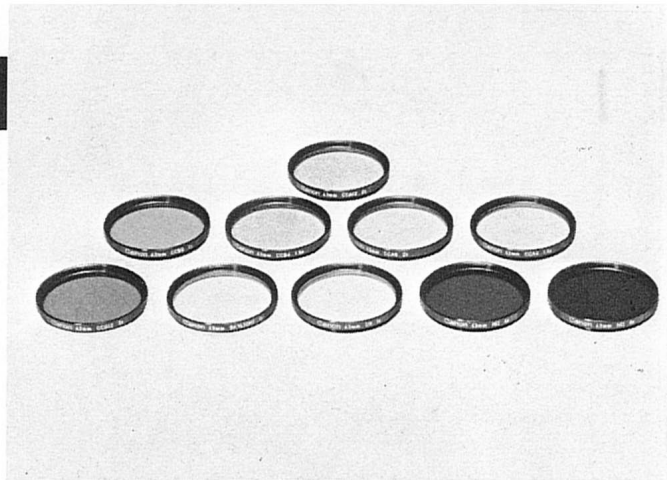
※カメラケースの前カバーはケースから取りはずすことができませんのでご注意ください。

## フィルターを使うときは

光を受けるCdS受光窓もいっしょにカバーされますから、露出補正という面倒な調整は必要なく、そのままE E撮影ができます。

## アフターサービスについて

本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために不可欠な部品）については日本国内において、7年間を目安に保有しております。従って本期間中は原則として修理をお受けいたします。なお、当期間後におきましても修理が可能な場合、あるいは故障の原因や内容によりましては、期間内においても修理することが困難なことも考えられますので、その判定につきましてはお買上げ店か裏表紙記載の当社サービス機関へお問合わせください。





## カメラ取扱いの注意

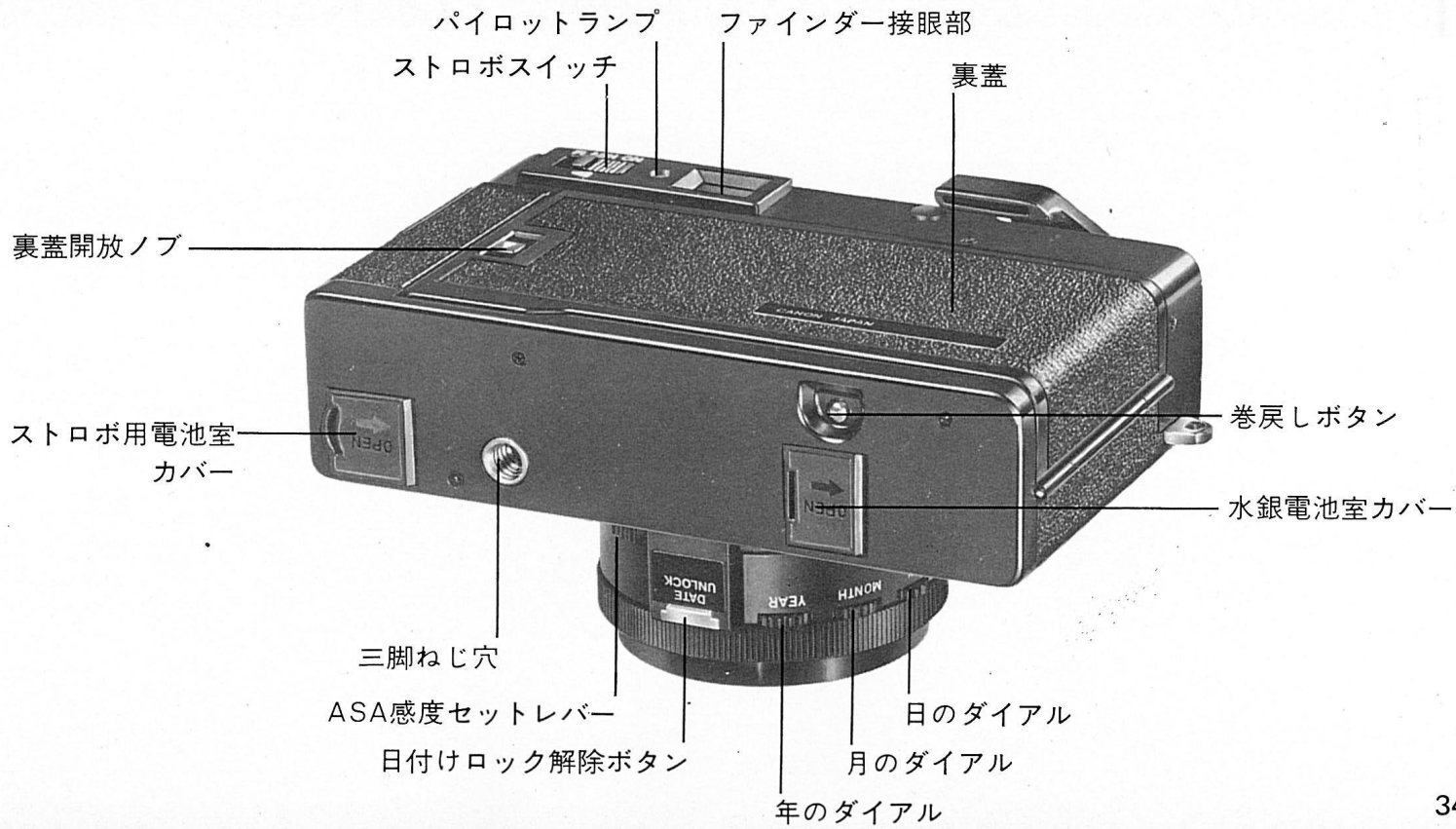
- 1 ご使用前には必ず電池チェックをしてください。電池がなくなるとシャッターがロックされます。
- 2 電池は⊕⊖の向きをまちがえないように入れてください。
- 3 カメラを使用しないときは電池を拔出しておいてください。長い間入れたままでしまっておきますと、電池漏液などでカメラ側の電気接点をいためるおそれがあります。
- 4 カメラの手入れ方法は、砂やほこりはブローで吹飛ばすか、やわらかい布でそっと拭いてください。そして常温で湿気の少ないところを選んで保管してください。
- 5 カメラを高温の場所に長時間置きますと故障の原因になることがありますので絶対にさけてください。直射日光の当たる乗用車のトランクやリヤウイン

ドなどは高温になることがありますので注意してください。

6 カメラを水にぬらさないように注意してください。もし雨などでぬらしてしまったときは、ストロボを押下げてから、乾いた布で拭きとってください。

7 カメラが故障したときは、高電圧回路がありますので、絶対自分で分解したりせずに、最寄りの当社サービスステーションにお持ちください。

8 長期間ストロボを使用しないときは、コンデンサーの性能維持のために時どき発光テストをしてください。



## アクセサリーの紹介

**1** 48mmフィルター各種  
Y1, Y3, O1, G1, R1, UV, CCA4, CCA8, CCA  
12, CCB4, CCB8, CCB12, スカイライト, ND4, ND8

**2** キヤノネットフード5型

NIGHTER

NIGHTER

NIGHTER

NIGHTER

NIGHTER

# Canon

キヤノン株式会社

キヤノン販売株式会社

〒108 東京都港区三田 3-11-28

カメラ販売企画部 (03) 455-9353

サービスステーション

札幌	・(060) 札幌市中央区北三条西 4-1 (第一生命ビル 4 階)	(011) 231-1313
仙台	・(980) 仙台市一番町 1-1-30 (やまと生命仙台ビル 6 階)	(0222) 66-4151~7
青森	・(030) 青森市堤町 1-6-3 (山一ビル)	(0177) 75-1666
新潟	・(950) 新潟市東大通 1-4-1 (マルタケビル 7 階)	(0252) 43-2111
東京	・(104) 東京都中央区銀座 5-9-9 (03) 573-7834	
	(160) 東京都新宿区西新宿 1-24-1 (第一生命ビル 2 階)	(03) 348-4721
	(192) 八王子市八幡町 11-2 (八王子繊維貿易館)	(0426) 25-7511
横浜	・(231) 横浜市中区南仲通り 4-39 (石橋ビル 1 階)	(045) 211-1691
千葉	・(280) 千葉市千葉港 4-3 (千葉県私学会館 4 階)	(0472) 43-9648
大宮	・(330) 大宮市桜木町 4-218 (共栄ビル 2 階)	(0486) 41-9122
静岡	・(420) 静岡市鷹匠 2-7-2 (静米会館 1 階)	(0542) 55-2241
名古屋	・(450) 名古屋市中村区名駅 3-21-7 (三交ビル)	(052) 565-0911
大阪	・(530) 大阪市北区梅田 2 (第一生命ビル)	(06) 341-9335
京都	・(604) 京都市中京区御池通間之町東入ル (東邦生命ビル 5 階)	(075) 241-0216
金沢	・(920) 金沢市尾張町 1-11-14 (住友生命ビル 2 階)	(0762) 32-1711
高松	・(760) 高松市番町 2-17-15 (第二讃機ビル 1 階)	(0878) 22-2044
岡山	・(700) 岡山市中山下 1-9-40 (新岡山ビル 5 階)	(0862) 22-8228
広島	・(730) 広島市小町 2-30 (第二有楽ビル 4 階)	(0822) 44-4615
福岡	・(812) 福岡市博多区博多駅前 4-20-23 (セントラルビル 1 階)	(092) 411-4172
鹿児島	・(890) 鹿児島県鹿児島市上之園町 14-8 (0992) 57-5311~2	

PUB. IJ01-050A

1077N15

PRINTED IN JAPAN

